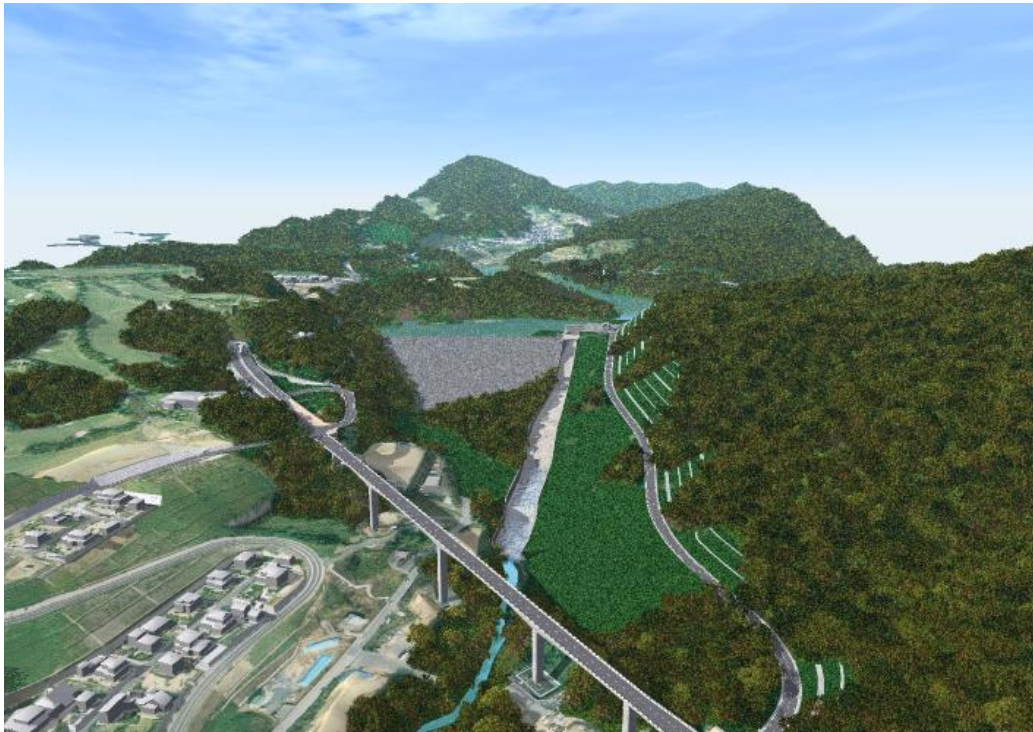


平成27年度

あいがわ

安威川ダム建設事業の 予算の確保に関する要望書

平成26年8月



安威川ダム建設推進協議会
(大阪府)

安威川ダム建設事業の 予算の確保に関する要望書

国におかれましては、安威川ダム建設事業の推進につきまして平素から格段のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

安威川は、北摂山系に源を発し、茨木市、高槻市、摂津市、吹田市、大阪市を流れ、古来よりわが郷土を育んでくれた母なる河川であります。

この流域は国土主軸に位置することから、早くから都市化が進展するとともに、名神高速道路、近畿自動車道、国道171号、J R 東海道新幹線及び鳥飼基地、J R 東海道本線などの広域交通基盤が集中し、北大阪流通業務地区など物流拠点が立地する非常に重要な地域であります。

また、本地域については国際文化公園都市「彩都」のまち開き、新名神高速道路の着工や阪急「摂津市」駅の開業、J R 西日本の新駅建設及び吹田操車場跡地の整備など、新たな都市基盤の整備が進められており、その重要性は一層高まってきております。

一方、安威川は、過去たびたび洪水被害を引き起こし、特に昭和42年7月の豪雨では、流域全体で約2万5千戸が浸水するなど、流域住民に甚大な被害を与えてきたところであり、もし、今後も豪雨により水害が発生すれば、流域住民に対する被害はもとより、広域交通や物流など都市基盤に対する被害とその影

響の大きさは計り知れないものがあります。

このため、大阪府は、当流域における抜本的な治水対策を目的とした、安威川ダムの建設を進めてきたところであります。

ダム建設に伴う生活再建対策については、すでに要となる府道茨木亀岡線などの付替道路を供用し、又、水没地区住民の代替地への移転を完了するとともに、用地取得率も99パーセントを超え、残る用地取得に向け、今年6月4日には、事業認定告示を得たところです。

平成24年度の転流工工事の発注に引きつづき、昨年度の平成26年3月24日にはダム本体工事の契約を行い、来年度からはダム本体工事を本格的に推進する予算の確保が望まれるところです。

流域地元市におきましても、水害の危険から住民の生命、財産を守るため、ダム本体工事を推進し、安威川ダムが一日も早く完成することを切望するとともに、ダムを活かした都市と豊かな自然環境が融合した魅力ある地域づくりに期待しております。

つきましては、安威川ダム本体工事を遅滞なく推進するために必要不可欠な事業を継続するため、平成27年度の予算編成につきまして、格段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年8月

安威川ダム建設推進協議会
会長 竹内 廣行

安威川ダム建設推進協議会

大阪府議会議員	杉本	武
大阪府議会議員	森	みどり
大阪府議会議員	松本	利明
茨木市長	木本	保平
茨木市議会議長	辰見	登
茨木市議会議員	下野	巖
茨木市副市長	楚和	敏幸
茨木市副市長	柴崎	啓二
大阪府政策企画部長	新井	純
大阪府環境農林水産部長	石川	晴久
○大阪府都市整備部長	竹内	廣行
大阪府住宅まちづくり部長	堤	勇二

○印は会長